地域支援コラム

A 小学校へ 2 回目の支援に行ってきました。今回は、運動会の取り組みの一つ、エイサーの演技を行うにあたっての片側にマヒがある児童に向けた支援方法についての相談でした。

現状は体幹の力を補う姿勢でバランスをとることができていて、自分でマヒ側の手にバチを持ちかえることで、安定してバチを握ることができ、そのバチやパーランクーを落とすことがないこと、そして、友だちの真似しながら演技できていることは素晴らしいので、引き続き今の取り組みを積み重ねていくことを後押しする形でアドバイスを行いました。

また、運動会に向けて、短期的には体幹のパワーアップは難しいので、自立活動の時間に身体全体を使った活動を積み重ねて、長期的に見ていくことをお伝えしました。現在もゲーム感覚で体幹を鍛える取り組みをされていて、このように日々工夫されていることが今に結びついていることもお話ししてきました。